

校長室だより

岸和田市立浜小学校 校長：山崎 洋

No. 78 R8(2026)/02/13

「明日も笑顔！ 未来も笑顔!! ~つなげよう“信頼”~」

☆ 4年に1度のオリンピック

ミラノ・コルティナオリンピックが開幕しました。先週の全校集会では、子どもたちに、以下のように話をしました。

オリンピックは、なんと4年に1回しかありません。1～4年生のみなさんは、前回のオリンピックは小学校に入る前のことだから、覚えていない人も多いでしょう。また、3～5年生のみなさんは、次のオリンピックは中学生、6年生のみなさんはなんと高校生です。それくらい貴重なイベントなので、世界から集まる選手たちが見せてくれる4年間の努力の成果を、しっかりと見て応援しましょう。

オリンピックの開幕前には「これまでのオリンピック名場面集」的な番組がいくつか放送されました。それを見て「それぞれの選手にとって、4年間にどんな意味があったのか」ということを考えさせられました。

ソチで金メダリストとなり、4年後の平昌で連覇をねらうも、練習でケガを負った羽生結弦選手が、それを乗り越え2連覇を達成する話。

バンクーバーで銀メダリストとなり、4年後のソチで金メダルが有望視されながら、ショートで不本意な滑りでメダルが絶望となる中でも、フリーで世界中を感動と涙を誘う演技を披露した浅田真央選手の話。

リレハンメルで自身の不本意なジャンプによる銀メダルから、4年後の長野で復活のジャンプを飛んで金メダルを導いた、男子団体ジャンプの原田雅彦選手の話。いずれも涙なしに語る事ができません。

今回の五輪でも、4年前に金メダリストとなりながら大会直前にケガをした平野歩夢選手や、4年前にスーツの規定により不幸な結末を迎えた高梨沙羅選手が、どんなパフォーマンスを見せてくれるのか。

それぞれの“4年間”が生むドラマにも、注目したいところです。